

平成 31 年度

滋賀大学大学院経済学研究科(博士前期課程)

学生募集要項

【 冬 季 】

[推 薦 入 試]

[一 般 入 試]

[社 会 人 入 試]

[外 国 人 留 学 生 入 試]



SHIGA UNIVERSITY

滋 賀 大 学

〒 522-8522

彦根市馬場一丁目1番1号

電話 0749 (27) 1023

## 【TOPICS】

### ○外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除制度

従来からの授業料免除制度とは別に、外国人留学生を対象とした授業料免除制度を設けています。この制度は、外国人留学生の中で、入学試験時の成績が優秀である者を対象として、授業料の全額（入学年度1年間）を免除するものです。詳しくは次の担当係へお問い合わせください。

学務課大学院係 TEL：0749（27）1032

### ○長期履修学生制度

この制度は、職業を有している等のために標準の修業年限で修了することが困難な学生を対象としています。事情に応じて標準の修業年限(2年)を超えて一定の期間(3年又は4年)にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができます。長期履修学生として認められた場合の授業料は、2年間（標準の修業年限）分の授業料総額を、あらかじめ認められた一定の修業年限で除した額にして、それぞれの年に支払うことになります。

### ○滋賀大学入学者選抜における検定料免除特例措置

滋賀大学では、大規模な災害発生に伴う被害に対して、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特例措置を設けています。

申請方法等の詳細は、次の本学ホームページをご確認のうえ、該当する方は出願時に申請してください。

本学 TOP (<http://www.shiga-u.ac.jp/>) > 入学案内 > 入学にかかる費用 > 入学検定料免除特例措置

### ○大学院説明会

今年度の経済学研究科 博士前期課程 説明会を下記の日程で行います。

11月4日(日) 13時30分～14時30分 彦根キャンパス

## 【目次】

|                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー | 1 ～ 3 頁   |
| 授業担当教員一覧表                           | 4 ～ 6 頁   |
| 平成 31 年度入試情報                        | 7 頁       |
| 推薦入試（冬季）学生募集要項                      | 8 ～ 12 頁  |
| 一般入試（冬季）学生募集要項                      | 13 ～ 17 頁 |
| 社会人入試（冬季）学生募集要項                     |           |
| （一般社会人・熟年社会人）                       | 18 ～ 22 頁 |
| （派遣社会人）                             | 23 ～ 26 頁 |
| 外国人留学生入試（冬季）学生募集要項                  | 27 ～ 31 頁 |
| 共通事項                                | 32 ～ 36 頁 |
| （参考）平成 30 年度滋賀大学大学院経済学研究科入学者選抜状況    | 37 頁      |

## 滋賀大学大学院経済学研究科 博士前期課程のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

### アドミッション・ポリシー

経済や経営への関心とその基礎的知識をもち、大学院において特定分野の研究を通じて高度な専門知識とその実践的応用能力を身につけ、修了後、関連分野において指導的役割を果たすことを希望している学生を求めています。

### ディプロマ・ポリシー

滋賀大学大学院経済学研究科博士前期課程は、経済学専攻、グローバル・ファイナンス専攻、経営学専攻からなり、下記に示すいずれかの条件を満たした者に修士（経済学、ファイナンス、経営学）の学位を授与します。

1. 経済学、金融・ファイナンス、経営学等に関する最新の専門的知識を修得していること。
2. 専門知識を基盤に、問題を探究し、解決できる能力を有していること。
3. 高度専門職業人として、民間企業および地方公共団体で指導的役割を果たしたり税理士や研究者として活躍できたりする能力を有していること。
4. 留学生においては帰国後、政府機関や民間企業において指導的役割を果たす能力を有していること。
5. 研究者を目指す者は、博士後期課程へ進学するための素養を有していること。

### カリキュラム・ポリシー

大学院経済学研究科では、ディプロマ・ポリシーに基づき、経済学や金融・ファイナンス、経営学等に関する高度な専門知識を備える経済人と研究者の養成を行います。

より効果的な教育を行うため、博士前期課程の各専攻は2つのコースを有します。ひとつは、高度専門職業人の養成を目指したプロフェッショナル・コースです。もうひとつは、研究者を目指す方やアカデミックな目で現職務を見直し自分の進む道を再確認したい方、そして実務経験を総括し生涯の知的欲求を満たしたい方などを対象としたリサーチ・コースです。各専攻で提供されるカリキュラム編成は下記のとおりです。

#### 【経済学専攻のカリキュラム・ポリシー】

経済学専攻は、現代の経済システムに関する経済諸科目、社会システムに関する諸科目で構成されています。その主要部分をなす経済学研究分野は、理論経済学、経済学史、統計学、経済史、経済政策、産業経済論、社会政策、労働経済論、財政学、金融論、国際経済論等の専門領域を含んでいます。

これらにより本専攻では、現代の複雑な経済・社会システムに関する理論・歴史・政策・制度等を網羅し、これらの領域における高度な専門知識を教授し、その応用能力を育成します。

### 【経営学専攻のカリキュラム・ポリシー】

経営学専攻は、現代の企業等が抱える経営課題に対応し、経営諸科目、会計諸科目、情報諸科目、および社会システムに関する諸科目で構成されます。

経営分野では企業経営の歴史・戦略・組織・財務・人的資源、会計分野では財務会計・管理会計、情報分野では経営工学・経営情報システム論・システム設計論・ネットワーク論、社会システム分野では法律・行動科学・社会・文化論等の専門領域を含んでいます。

これらにより本専攻では、それぞれの領域における高度な専門知識を教授し、その応用能力を育成します。

### 【グローバル・ファイナンス専攻のカリキュラム・ポリシー】

ファイナンス専攻は、金融・ファイナンスの基礎理論分野、金融・保険・証券市場とそれに対応する政策分野、ファイナンスの実務分野（企業金融、公的金融、国際会計等）の3分野の科目で構成されています。

これらにより本専攻では、金融のグローバル化に対応し、金融・ファイナンスの総合的知識の修得と応用、それらを現場に生かすための能力を育成します。

## 博士前期課程の教育課程

### ① コース選択と複数指導教員制度

プロフェSSIONAL・コースとリサーチ・コースの選択は入学時に行います。

また、入学時に学生の希望指導教員と相談しつつ、主指導教員及び副指導教員を各1名選びます。主指導教員は演習を通じて2年間皆さんの研究の順調な進展を導き、支えます。さらに、体系的履修ができるよう履修計画に対して指導・助言を与えます。副指導教員は、皆さんから提出される研究の進捗状況や今後の研究計画に関するレポートを基に研究に助言を与えるなど、主指導教員と連携してサポートしていきます。

なお、1年次春学期終了後に指導教員と相談のうえコース及び指導教員を変更することができます。

### ② 各コースの特徴

#### 1) プロフェSSIONAL・コース

現代の社会的要請に対応し、実践的応用力に秀でた高度専門職業人能力の養成を目指します。次表のように、ビジネス分析プログラムでは9つの履修モデルを、また政策分析プログラムでは6つの履修モデルを用意して、皆さんが目標とするキャリアに適う展開科目群を案内しています。主指導教員とよく相談しながら基礎科目、展開科目、プロジェクト科目を体系的に選択・履修してください。そして、演習を通じて、研究の成果を修士論文ないし特定課題研究にまとめてください。

| プログラム  | 履修モデル  |
|--|--|
| A) 政策分析プログラム<br>現代の地域社会が抱える問題と真摯に取り組み、地域社会の真に豊かな発展を導く政策を提言するとともに、その実現を牽引・支援することができる地方公務員や NPO/NGO 実務家等にふさわしい専門的職業人能力の育成を目指します。 | 地域政策モデル<br>地域ガバナンスモデル<br>環境・福祉モデル<br>経済開発政策モデル<br>金融エコノミスト養成モデル<br>データサイエンスモデル |

|  |   |
|--|---|
| <p><b>B) ビジネス分析プログラム</b></p> <p>実践的応用力の養成を強く意識しながら、ビジネスの主要分野についての専門的知識を包括的に提供します。さらに、歴史的な視点をも培い、シャープな思考力とスケールの大きな洞察力を兼ね備えてビジネスの創造的発展に寄与できる、真にプロフェッショナルなビジネス・アドミニストレーターの養成を目指します。</p> | <p>戦略的マネジメントモデル</p> <p>マーケティングモデル</p> <p>技術経営モデル</p> <p>起業家モデル</p> <p>企業分析モデル</p> <p>金融専門人材養成モデル</p> <p>金融リスクマネジメントモデル</p> <p>税理士モデル</p> <p>データサイエンスモデル</p> |
|--|---|

## 2) リサーチ・コース

研究者を志向する方にとってのみならず、アカデミックな目で現職務を見直して自分の進むべき道を再確認したい方や、実務経験を総括し生涯の知的満足を満たしたい方にとって魅力的なコースです。さらに、このコースで培われる柔軟で透徹した洞察力は、リーダーとして企業を牽引することを目指す方にとっても重要な資質だと思います。

このようにさまざまなタイプの方々からの選択を想定し、次表のように、リスク分析プログラムでは4つの履修モデルを用意しています。主指導教員とよく相談しながら、自らが選んだ研究主題に関わる基礎科目や展開科目を体系的に選択して履修してください。

| プログラム  | 履修モデル   |
|--|---|
| <p>リスク分析プログラム</p> <p>経済学・経営学などの専門知識と高度な分析手法の修得を通じて、理論や実践へのアカデミックな能力の涵養を目指します。研究者を志す人や実務経験の学術的展開を探求する人へ、4つの履修モデルの中で包括的な教育研究分野の科目を多く提供し、最先端の研究動向を踏まえた幅広く柔軟な分析力を培います。</p> | <p>リスク理論モデル</p> <p>リスク管理モデル</p> <p>リスクと創造モデル</p> <p>データサイエンスモデル</p> |

授業担当教員一覧表（予定）

| 経 済 学 専 攻 |            |                  |            |
|-----------|------------|------------------|------------|
| 授 業 科 目   | 担 当 教 員    | 授 業 科 目          | 担 当 教 員    |
| ミクロ経済学    | 准教授 河相 俊之  | 環境リスク管理論         | 准教授 松下 京平  |
| マクロ経済学    | 教授 鈴木 康夫   | 〃                | 教授 森 宏一郎   |
| 産業連関論     | 教授 鈴木 康夫   | 国際金融論            | 教授 吉田 裕司   |
| 数理経済学     | 准教授 谷川 義行  | 金融論              | 未定         |
| 中級価格理論    | 准教授 谷川 義行  | 金融の公共経済学         | 准教授 井手 一郎  |
| 入門数理経済学   | 准教授 谷川 義行  | 金融契約論            | 准教授 井手 一郎  |
| 統計        | 准教授 大濱 巖   | マクロ金融論           | 教授 二宮 健史郎  |
| データ分析     | 准教授 藤井 孝之  | マクロ財政学           | 教授 近藤 豊将   |
| 〃         | 准教授 大濱 巖   | 情報経営論            | 准教授 山下 悠悠  |
| 〃         | 准教授 藤井 孝之  | 情報経済論            | 准教授 山下 悠悠  |
| 計量経済学     | 教授 和泉 志津恵  | 〃                | 教授 永田 えり子  |
| 政治経済学     | 教授 得田 雅章   | 〃                | 教授 黒石 晋    |
| 現代資本主義論   | 教授 田中 英明   | 〃                | 教授 鍋倉 聡    |
| 経済思想      | 未定         | 社会システム           | 教授 永田 えり子  |
| 経済史       | 教授 御崎 加代子  | 〃                | 教授 黒石 晋    |
| 財政学       | 教授 御崎 加代子  | 経済社会学            | 未定         |
| 〃         | 特任教授 北村 裕明 | 消費者心理学           | 未定         |
| 財政政策論     | 教授 松田 有加   | 行動科学             | 准教授 谷上 亜紀  |
| 〃         | 特任教授 北村 裕明 | 認知心理学            | 准教授 谷上 亜紀  |
| 比較地方財政論   | 教授 松田 有加   | 現代政治理論           | 准教授 大村 啓喬  |
| 〃         | 特任教授 北村 裕明 | 行政システム           | 教授 宗野 隆俊   |
| 租税論       | 教授 松田 有加   | 地方自治             | 教授 宗野 隆俊   |
| 経済政策      | 未定         | 民法               | 准教授 能登 真規子 |
| 〃         | 特任教授 北村 裕明 | 商會               | 未定         |
| 公共政策      | 准教授 和田 佳之  | 社会               | 教授 原 秀六    |
| 〃         | 准教授 和田 佳之  | 経済               | 未定         |
| 公共経済学     | 准教授 吉川 英治  | 労働               | 未定         |
| 〃         | 准教授 和田 佳之  | 税                | 未定         |
| 法と経済学     | 准教授 吉川 英治  | 国際経済法            | 教授 増山 裕一   |
| 都市経済学     | 准教授 和田 佳之  | 日本社会史            | 准教授 坂田 雅夫  |
| 産業政策論     | 教授 和田 佳之   | 現代文化論            | 教授 青柳 周一   |
| 産業組織論     | 教授 中野 桂    | 比較社会・文化論         | 教授 阿部 安成   |
| 〃         | 准教授 石井 利江子 | 文化人類学            | 未定         |
| リスクの経済学   | 准教授 中野 桂   | 地域経済創発論          | 教授 福浦 厚子   |
| 産業経済論     | 准教授 石井 利江子 | 医療経済学            | 教授 石井 良一   |
| 社会政策      | 未定         | 経済分析             | 准教授 佐野 洋史  |
| 福祉経済学     | 教授 山田 和代   | 〃                | 准教授 河相 俊之  |
| 社会保障論     | 准教授 吉川 英治  | 〃                | 教授 鈴木 康夫   |
| 労働経済論     | 准教授 佐野 洋史  | データサイエンス実務基礎     | 准教授 谷川 義行  |
| 国際経済論     | 教授 山田 和代   | データサイエンス実務応用     | 教授 竹村 彰通   |
| 国際経済開発論   | 未定         | 医療統計学基礎          | 准教授 姫野 哲人  |
| 世界経済      | 教授 金 秉基    | 医療統計学応用          | 教授 和泉 志津恵  |
| 〃         | 理事 小倉 明浩   | 多変量解析概論          | 准教授 田中 佐智子 |
| 国際経済関係論   | 理事 小倉 明浩   | 質的データ解析概論        | 准教授 松井 秀俊  |
| 日本経済史     | 教授 ※筒井 正夫  | 時系列解析概論          | 教授 和泉 志津恵  |
| 欧米経済史     | 教授 三ツ石 郁夫  | 統計コンサルティング       | 教授 竹村 彰通   |
| 日本金融経済論   | 教授 楠田 浩二   | Academic Writing | 教授 笛田 薫    |
| 環境経済学     | 准教授 松下 京平  | 標本調査法            | 未定         |
| 環境政策論     | 教授 田中 勝也   | 多変量解析方法論         | 教授 高田 聖治   |
| 資源経済論     | 教授 田中 勝也   | 機械学              | 教授 笛田 薫    |
| 環境リスク管理論  | 教授 中野 桂    | 人工知能論            | 教授 清水 昌平   |
| 〃         | 教授 田中 勝也   | 社会調査法            | 准教授 田中 琢真  |
|           |            |                  | 未定         |

経営学専攻

| 授業科目           | 担当教員       | 授業科目             | 担当教員       |
|----------------|------------|------------------|------------|
| 経営学原理          | 教授 伊藤 博之   | 情報経営論            | 准教授 山下 悠   |
| 組織間関係論         | 准教授 陳 韻如   | 情報経済論            | 准教授 山下 悠   |
| イノベーション論       | 准教授 陳 韻如   | 情報ネットワーク論        | 准教授 梅津 高朗  |
| 経営戦略論          | 准教授 竹中 厚雄  | ソフトウェアシステム論      | 未定         |
| 国際経営戦略論        | 准教授 竹中 厚雄  | ハードウェアシステム論      | 准教授 川井 明   |
| 経営組織論          | 教授 伊藤 博之   | 経営情報システム論        | 教授 齋藤 邦彦   |
| 企業統治論          | 教授 伊藤 博之   | 情報処理論            | 教授 谷口 伸一   |
| 比較経営論          | 准教授 柴田 淳郎  | 知能情報論            | 教授 渡邊 凡夫   |
| ダイバーシティ・マネジメント | 准教授 柴田 淳郎  | 情報理論             | 准教授 富田 健一  |
| 人材マネジメント論      | 教授 澤木 聖子   | 環境リスク管理論         | 教授 中野 桂    |
| 技術マネジメント論      | 教授 澤木 聖子   | 〃                | 教授 田中 勝也   |
| 生産マネジメント       | 教授 弘中 史子   | 〃                | 准教授 松下 京平  |
| 日本経営史          | 教授 弘中 史子   | 〃                | 教授 森 宏一郎   |
| 近江商人経営論        | 准教授 井澤 龍   | 社会学              | 教授 永田 えり子  |
| 外国経営史          | 未定         | 〃                | 教授 黒石 晋    |
| 比較経営史          | 准教授 井澤 龍   | 〃                | 教授 鍋倉 聰    |
| マーケティング論       | 未定         | 社会システム           | 教授 永田 えり子  |
| マーケティング戦略論     | 教授 岡本 哲弥   | 〃                | 教授 黒石 晋    |
| マーケティング戦略論基礎   | 教授 清宮 政宏   | 経済社会学            | 未定         |
| マーケティング・リサーチ   | 教授 清宮 政宏   | 現代政治理論           | 准教授 大村 啓喬  |
| マネジメント         | 教授 岡本 哲弥   | 行政システム           | 教授 宗野 隆俊   |
| マネジメント・ポリシー    | 教授 弘中 史子   | 地方自治法            | 教授 宗野 隆俊   |
| マネジメント・サイエンス   | 教授 澤木 聖子   | 民法               | 准教授 能登 真規  |
| 組織行動論          | 未定         | 商法               | 未定         |
| 消費者心理学         | 教授 小野 善生   | 会社法              | 教授 原 秀六    |
| 行動科学           | 未定         | 経済法              | 未定         |
| 認知心理学          | 准教授 谷上 亜紀  | 労働法              | 未定         |
| 会計理論           | 准教授 谷上 亜紀  | 税法               | 教授 増山 裕一   |
| 〃              | 教授 太田 善之   | 日本社会史            | 教授 青柳 周一   |
| 〃              | 准教授 可児島 達夫 | 現代文化論            | 教授 阿部 安成   |
| 〃              | 准教授 赤塚 尚之  | 比較社会・文化論         | 未定         |
| 会計学論           | 未定         | 文化人類学            | 教授 福浦 厚子   |
| 監査             | 准教授 笠井 直樹  | 実践的経営管理論         | 未定         |
| 財務             | 准教授 可児島 達夫 | 医療経済学            | 准教授 佐野 洋史  |
| 〃              | 准教授 赤塚 尚之  | データサイエンス実務基礎     | 教授 竹村 彰通   |
| 〃              | 教授 太田 善之   | データサイエンス実務応用     | 准教授 姫野 哲人  |
| 管理会計           | 准教授 宮西 賢次  | 医療統計学基礎          | 教授 和泉 志津恵  |
| 〃              | 准教授 衣笠 陽子  | 医療統計学応用          | 准教授 田中 佐智子 |
| コストマネジメント      | 未定         | 多変量解析概論          | 准教授 松井 秀俊  |
| 連結会計           | 准教授 可児島 達夫 | 質的データ解析概論        | 教授 和泉 志津恵  |
| 〃              | 准教授 赤塚 尚之  | 時系列解析概論          | 教授 竹村 彰通   |
| 企業分析論          | 准教授 宮西 賢次  | 統計コンサルティング       | 教授 菅田 薫    |
| 原価計算           | 准教授 北田 真紀  | Academic Writing | 未定         |
| 国際会計           | 准教授 赤塚 尚之  | 標本調査法            | 教授 高田 聖治   |
| 〃              | 教授 野田 昭宏   | 多変量解析方法論         | 教授 菅田 薫    |
| 経営工学           | 教授 熊澤 吉起   | 機械学              | 教授 清水 昌平   |
| 〃              | 准教授 内藤 雄志  | 人工知能論            | 教授 田中 琢真   |
| オペレーションズ・リサーチ  | 准教授 内藤 雄志  | 社会調査法            | 准教授 田中 琢真  |
| ユーポレート・ファイナンス  | 准教授 村松 郁夫  |                  | 未定         |

グローバル・ファイナンス専攻

| 授 業 科 目                               | 担 当 教 員         | 授 業 科 目                 | 担 当 教 員         |
|---------------------------------------|-----------------|-------------------------|-----------------|
| 計 量 経 済 学                             | 教 授 得 田 雅 章     | 連 結 会 計                 | 准 教 授 可 児 島 達 夫 |
| 政 治 経 済 学                             | 教 授 田 中 英 明     | 〃                       | 准 教 授 赤 塚 尚 之   |
| リ ス ク の 経 済 学                         | 准 教 授 石 井 利 江 子 | 国 際 会 計                 | 准 教 授 赤 塚 尚 之   |
| 国 際 経 済 論                             | 未 定             | 〃                       | 教 授 野 田 昭 宏     |
| 環 境 リ ス ク 管 理 論                       | 教 授 中 野 桂       | フ ァ イ ナ ン ス 数 学         | 准 教 授 金 谷 太 郎   |
| 〃                                     | 教 授 田 中 勝 也     | 医 療 経 済 学               | 准 教 授 佐 野 洋 史   |
| 〃                                     | 准 教 授 松 下 京 平   | テ ー タ サ イ エ ン ス 実 務 基 礎 | 教 授 竹 村 彰 通     |
| 〃                                     | 教 授 森 宏 一 郎     | テ ー タ サ イ エ ン ス 実 務 応 用 | 准 教 授 姫 野 哲 人   |
| 日 本 金 融 経 済 論                         | 教 授 楠 田 浩 二     | 医 療 統 計 学 基 礎           | 教 授 和 泉 志 津 恵   |
| 証 券 分 析 と ポ ー ト フ ォ リ オ マ ネ ー ジ ム ン ト | 教 授 楠 田 浩 二     | 医 療 統 計 学 応 用           | 准 教 授 田 中 佐 智 子 |
| 〃                                     | 准 教 授 菊 池 健 太 郎 | 多 変 量 解 析 概 論           | 准 教 授 松 井 秀 俊   |
| 金 融 工 学                               | 准 教 授 金 谷 太 郎   | 質 的 デ ー タ 解 析 概 論       | 教 授 和 泉 志 津 恵   |
| 計 量 フ ァ イ ナ ン ス                       | 准 教 授 金 谷 太 郎   | 時 系 列 解 析 概 論           | 教 授 竹 村 彰 通     |
| マ ク ロ 金 融 論                           | 教 授 二 宮 健 史 郎   | 統 計 コ ン サ ル テ ィ ン グ     | 教 授 笛 田 薫       |
| マ ク ロ 財 政 学                           | 教 授 近 藤 豊 将     | Academic Writing        | 未 定             |
| 公 共 経 済 学                             | 准 教 授 和 田 佳 之   | 標 本 調 査 法               | 教 授 高 田 聖 治     |
| 〃                                     | 准 教 授 吉 川 英 治   | 多 変 量 解 析 方 法 論         | 教 授 笛 田 薫       |
| 都 市 経 済 論                             | 准 教 授 和 田 佳 之   | 機 械 学 習                 | 教 授 清 水 昌 平     |
| 金 融 政 策 論                             | 教 授 二 宮 健 史 郎   | 人 工 知 能 論               | 准 教 授 田 中 琢 真   |
| 国 際 金 融 論                             | 教 授 吉 田 裕 司     | 社 会 調 査 法               | 未 定             |
| 比 較 金 融 シ ス テ ム 論                     | 教 授 吉 田 裕 司     |                         |                 |
| 金 融 論                                 | 未 定             |                         |                 |
| フ ァ イ ナ ン ス                           | 准 教 授 菊 池 健 太 郎 |                         |                 |
| 金 融 の 公 共 経 済 学                       | 准 教 授 井 手 一 郎   |                         |                 |
| 金 融 契 約 論                             | 准 教 授 井 手 一 郎   |                         |                 |
| 証 券 市 場 論                             | 未 定             |                         |                 |
| コ ー ポ レ ー ト ・ フ ァ イ ナ ン ス             | 准 教 授 村 松 郁 夫   |                         |                 |
| 機 関 投 資 家 論                           | 教 授 久 保 英 也     |                         |                 |
| 不 動 産 投 資 論                           | 教 授 久 保 英 也     |                         |                 |
| 保 険 ・ リ ス ク マ ネ ー ジ ム ン ト             | 教 授 久 保 英 也     |                         |                 |
| 信 用 リ ス ク ・ マ ネ ー ジ ム ン ト             | 未 定             |                         |                 |
| 金 融 シ ス テ ム 論                         | 准 教 授 片 山 雅 志   |                         |                 |
| 金 融 法                                 | 准 教 授 片 山 雅 志   |                         |                 |
| ベンチャー・ファイナンス論                         | 未 定             |                         |                 |
| 比 較 地 方 財 政 論                         | 特 任 教 授 北 村 裕 明 |                         |                 |
| 〃                                     | 教 授 松 田 有 加     |                         |                 |
| 経 済 法                                 | 未 定             |                         |                 |
| 税 法                                   | 教 授 増 山 裕 一     |                         |                 |
| 国 際 経 済 法 論                           | 准 教 授 坂 田 雅 夫   |                         |                 |
| 会 計 理 論                               | 教 授 太 田 善 之     |                         |                 |
| 〃                                     | 准 教 授 可 児 島 達 夫 |                         |                 |
| 〃                                     | 准 教 授 赤 塚 尚 之   |                         |                 |
| 会 計 学                                 | 未 定             |                         |                 |
| 財 務 会 計                               | 准 教 授 可 児 島 達 夫 |                         |                 |
| 〃                                     | 准 教 授 赤 塚 尚 之   |                         |                 |
| 〃                                     | 教 授 太 田 善 之     |                         |                 |
| 〃                                     | 教 授 野 田 昭 宏     |                         |                 |

(注) 1. 〃の教員は希望する指導教員に選べません。

※は2020年3月退職予定教員です。

2. 授業科目, 担当教員については, 変更となる場合があります。

3. 希望する指導教員は, 志望する専攻の担当教員から選んで下さい。



# 平成31年度入試情報

## 募集人員

| 選抜種別                | 専攻名   |       |                |
|---------------------|-------|-------|----------------|
|                     | 経済学専攻 | 経営学専攻 | グローバル・ファイナンス専攻 |
| 推薦入試                | 13名   | 13名   | 6名             |
| 一般入試                |       |       |                |
| 社会人入試<br>(一般・熟年・派遣) |       |       |                |
| 外国人留学生入試            |       |       |                |

募集人員は、夏季募集と冬季募集の合計数です。

## 夏季募集合格者数

| 経済学専攻 | 経営学専攻 | グローバル・ファイナンス専攻 | 合計 |
|-------|-------|----------------|----|
| 3名    | 5名    | 0名             | 8名 |

## 選抜方法・出願期間等

### 冬季募集

| 選抜種別             | 選抜方法                | 出願期間                            | 試験日程          |
|------------------|---------------------|---------------------------------|---------------|
| 推薦入試             | 口述試験                | 平成30年12月17日(月)<br>～12月21日(金)17時 | 平成31年1月26日(土) |
| 一般入試             | 筆記試験2科目, 口述試験       |                                 |               |
| 社会人入試<br>(一般社会人) | 筆記試験1科目, 口述試験       |                                 |               |
| 社会人入試<br>(熟年社会人) | 小論文(出願時に提出)<br>口述試験 |                                 |               |
| 社会人入試<br>(派遣社会人) | 口述試験                |                                 |               |
| 外国人留学生入試         | 筆記試験1科目, 口述試験       |                                 |               |

筆記試験の科目・出願手続などは、各選抜種別により異なるので、受験する選抜種別の事項を確認してください。



# 推薦入試（冬季）学生募集要項

## 1. 出願資格及び推薦要件

### A 推薦

〔出願資格〕

次の各号のいずれかに該当し、**合格した場合には、入学することを確約できる者**

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を標準年限で平成30年9月に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を標準年限で平成30年4月から平成31年3月までに修了した者あるいは修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を標準年限で平成30年4月から平成31年3月までに修了した者あるいは修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を標準年限で平成30年4月から平成31年3月までに修了した者あるいは修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を平成30年4月から平成31年3月までに授与された者あるいは授与される見込みの者

〔推薦要件〕

上記の出願資格を有し、演習指導教員または関連分野の教員が推薦できる者で、次の1又は2のいずれかに該当する者

1. 3年次修了時点において既に100単位以上を修得し、そのうち60%以上がA（優）を占める者  
なお、修得単位数には認定単位は算入しない。
2. 大学の3年次へ編入学をした者で受験を希望する者は、次に該当する者とする。  
3年次修了時点において認定単位を含めて既に100単位以上を修得し、そのうち3年次における取得単位数が40単位以上であり、かつ3年次取得単位数の60%以上がA（優）を占める者  
なお、3年次取得単位数には認定単位は算入しない。

### B 推薦

〔出願資格〕

次の各号のいずれかに該当し、**合格した場合には、入学することを確約できる者**

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を標準年限で平成30年9月に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を標準年限で平成30年4月から平成31年3月までに修了した者あるいは修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を標準年限で平成30年4月から平成31年3月までに修了した者あるいは修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位

置けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を標準年限で平成30年4月から平成31年3月までに修了した者あるいは修了見込みの者

- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を平成30年4月から平成31年3月までに授与された者あるいは授与される見込みの者

[推薦要件]

上記の出願資格を有し、演習指導教員または関連分野の教員2名が推薦できる者で、次の要件に該当する者

大学院での研究を進めるうえで特に優れた資質を有する者（例えば、懸賞論文等に入選した者、大学院で専攻する分野に関連する科目に関して優れた成績を修めた者、着想力・論理的思考能力・分析能力・表現力において特に優れた能力を有する者、など）

[注] 出願資格について不明な点がある場合は、願書提出前に入試課(0749-27-1023)まで照会してください。

## 2. 出願期間

平成30年12月17日(月)から12月21日(金) 17時(必着)

- (1) 郵送（書留速達）の場合は、期間内必着としますので、郵便事情を十分考慮して送付してください。
- (2) 持参の場合は、各日9時30分～17時まで受け付けます。

## 3. 入学検定料

30,000円

- (1) 入学検定料は、平成30年12月10日(月)から12月21日(金)の期間に払い込んでください。
- (2) 入学検定料は本学所定の5連式払込用紙を使用して、最寄りの銀行又は郵便局窓口から払い込んでください。**なお、現金自動預払機(ATM)は利用できません。**
- (3) 滋賀銀行の本・支店から滋賀銀行彦根支店への払い込みの場合のみ、手数料は不要です。その他の金融機関（滋賀銀行以外の銀行・郵便局）からの払い込みは手数料が必要となります。
- (4) 払い込み後、「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書」を受け取り、受付印があることを確認してください。  
なお、受付印を受けた「**振替払込受付証明書**」は、検定料納付確認票の所定欄に貼付してください。
- (5) 持参の場合も銀行又は郵便局で入学検定料を払い込み後、出願書類一式を持参してください。
- (6) **出願時現在、日本国政府(文部科学省)から奨学金を得ている留学生は納付不要です。**  
この場合はその旨を出願時に申し出てください。ただし、他大学に在籍している者は、当該大学が発行する「国費外国人留学生証明書」を提出してください。

(注) 入学検定料返還該当者への返還手続について

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下(ア)(イ)に該当しない者は理由の如何を問わず検定料の返還は行いません。

(ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者

(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ者

**該当する者は、入試課(0749-27-1023)まで連絡してください。なお、返還請求に際しては、「振替払込請求書兼受領証」が必要ですので、請求まで大切に保管しておいてください。**

## 4. 出願手続

### 1. 出願書類等

| 出 願 書 類 等                               | 摘 要  |
|---|--|
| 1 入 学 志 願 票                             | ・本研究科所定の用紙を使用してください。   |
| 2 受 験 票                                 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・氏名等を記入してください。   |
| 3 写 真 票                                 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・写真貼付欄に記載された要件を充たした写真を貼付してください。  |
| 4 検 定 料 納 付 確 認 票                       | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・所定欄に受付印を受けた「振替払込受付証明書」を貼付してください。  |
| 5 卒 業 見 込 証 明 書                         | ・出身大学長又は学部長が作成したもの。 <b>なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。</b><br>・入学年月の記載されたものを提出してください。   |
| 6 成 績 証 明 書                             | ・出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの。 <b>なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。</b><br>・3年次修了時点における単位取得状況について記載されたものを提出してください。  |
| 7 エ ッ セ イ<br>( 小 論 文 )                  | 1：学部での研究内容または卒業論文について（2,000字程度・A4・様式自由）<br>2：志望理由（大学院での研究と将来の進路との関連性に言及すること。2,000字程度・A4・様式自由）<br>注意：1と2の両方提出すること   |
| 8 研 究 計 画 書                             | ・本研究科所定の用紙を使用してください。（2,000字から3,000字）   |
| 9 評 価 ・ 推 薦 書                           | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・A推薦の場合は1推薦者から1通、B推薦の場合には2推薦者から各1通。<br>・推薦者が作成・厳封し、志願者が他の出願書類とまとめて提出してください。  |
| 10 B 推 薦<br>推薦要件に係る証明書<br>( 該 当 者 の み ) | ・大学院で研究を進めるうえで特に優れた資質を有することを証明する書類を提出してください。<br>・懸賞論文等で賞を受賞している場合には、論文のコピー1部、200字程度の要約、受賞理由、一式を出願書類として提出してください。<br>なお、論文集に準じる活字媒体で執筆経験があり、審査の対象に含めるよう希望する場合にはコピーと200字程度の要約を提出してください。 |
| 11 在 留 カ ー ド の コ ピ ー<br>( 外 国 人 の み )   | ・在留カードの表面と裏面のコピーを提出してください。<br>・在留カードの交付を受けていない者は、パスポートの顔写真のページのコピーを提出してください。   |
| 12 「 受 験 票 等 在 中 」<br>封 筒               | ・本学所定の封筒を使用してください。<br>・受験票受取人の郵便番号、住所、氏名を記入し、392円分の切手（簡易書留）を貼付してください。  |

|    |         |   |
|----|---------|---|
| 13 | あ て 名 票 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の用紙を使用してください。</li> <li>・合格通知書受取人（日本国内の連絡先）の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。</li> </ul> |
|----|---------|---|

(注) 5 卒業見込証明書, 6 成績証明書を除く出願書類については, 日本語以外で書かれたものは, 必ず日本語訳を添付してください。5 卒業見込証明書, 6 成績証明書については, 日本語・英語以外で書かれたものは, 日本語訳を添付してください。  
日本語訳については, 公的機関または公的翻訳資格を有する者が行ったものに限ります。  
該当する者(機関)が無い場合は, 第三者(機関)によるものとします。

2. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類により氏名等が相違する場合は, これを確認できる証明書(戸籍抄本等)を添付してください。
- (2) 入学検定料を払い込み後, 出願書類を一括して本研究科所定の封筒に同封し, 郵送又は持参により提出してください。なお, 払い込み済みの「振替払込受付証明書」が貼付していない場合は, 出願を受理しません。
- (3) 郵送の場合は, 出願期間内に到着するよう必ず「書留速達」で送付してください。
- (4) 出願書類の分割提出は, 受け付けません。
- (5) 不備のある出願書類は, 受け付けません。
- (6) 出願書類受理後は, 記入事項の変更を認めません。
- (7) 出願書類は, いかなる理由があっても返還しません。

3. 出願書類の提出先

滋賀大学入試課 (〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号)

5. 選抜方法及び口述試験要領

1. 選抜方法

入学者の選抜は, 出願書類一式及び口述試験の結果を総合して判定します。

なお, 入学後の主指導教員は, 研究計画等を勘案して, 希望する指導教員から変更することがあります。

2. 口述試験

提出された「エッセイ(小論文)」及び「研究計画書」等を中心に, 希望研究分野に関して口頭試問します。

3. 口述試験期日及び試験時間

|               |         |
|---------------|---------|
| 平成31年1月26日(土) | 10時00分～ |
|---------------|---------|

4. 試験場

滋賀大学大学院経済学研究科 彦根市馬場一丁目1番1号

6. 合格者発表

1. 合格者発表日時・場所

平成31年2月1日(金) 13時(予定) 彦根キャンパス正門掲示板

2. 合格通知等

合格者には, 合格通知書を郵送します。この合格通知書及び掲示板の掲示をもって, 正式な通知といたします。また, 入試情報ホームページにおいても同時刻より合格者を速報いたします。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。

なお, 電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

●以下は共通事項(32頁)へ続く

1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談
2. 受験上の注意事項
3. 入学試験の実施に関する注意事項
4. 入学料・授業料等
5. 入学手続
6. 外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除制度
7. 長期履修学生制度
8. 個人情報の取扱い
9. 入学試験個人成績の開示
10. その他

# 一般入試（冬季）学生募集要項

## 1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 平成31年3月末までに大学に3年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者〔注1〕〔注2〕
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年4月1日現在、22歳に達した者〔注2〕

〔注1〕 (9)により出願する者は、次の条件を満たしていること。

- ① 出願時に大学の3年次に在学していること
  - ② 平成31年3月末までに112単位以上を修得する見込みがあり、かつ、そのうちの72単位以上がA（優）で占めることが見込まれること
- なお、修得単位数には認定単位は算入しない。

また、入学試験に合格した後にこれらの単位を修得することができないことが確定した場合は、合格を取り消すこととする。

〔注2〕 出願資格(9)・(10)のいずれかにより出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行うので、事前に「出願資格審査要領」を本学入試課あてに請求し、**その申請を平成30年11月29日(木)までに行うこと**。この期限までに申請を行わない場合には、資格審査が受けられなくなることがあります。

なお、出願資格審査要領は入試情報ホームページから入手することもできます。

URL <http://www.shiga-u.ac.jp/admission/>



## 2. 出願期間

平成30年12月17日(月)から12月21日(金) 17時(必着)

- (1) 郵送(書留速達)の場合は、期間内必着としますので、郵便事情を十分考慮して送付してください。
- (2) 持参の場合は、各日9時30分～17時まで受け付けます。

## 3. 入学検定料

30,000円

- (1) 入学検定料は、平成30年12月10日(月)から12月21日(金)の期間に払い込んでください。
- (2) 入学検定料は本学所定の5連式払込用紙を使用して、最寄りの銀行又は郵便局窓口から払い込んでください。**なお、現金自動預払機(ATM)は利用できません。**
- (3) 滋賀銀行の本・支店から滋賀銀行彦根支店への払い込みの場合のみ、手数料は不要です。その他の金融機関(滋賀銀行以外の銀行・郵便局)からの払い込みは手数料が必要となります。
- (4) 払い込み後、「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書」を受け取り、受付印があることを確認してください。  
なお、受付印を受けた「**振替払込受付証明書**」は、検定料納付確認票の所定欄に貼付してください。
- (5) 持参の場合も銀行又は郵便局で入学検定料を払い込み後、出願書類一式を持参してください。
- (6) **出願時現在、日本国政府(文部科学省)から奨学金を得ている留学生は納付不要です。**  
この場合はその旨を出願時に申し出てください。ただし、他大学に在籍している者は、当該大学が発行する「国費外国人留学生証明書」を提出してください。

### (注) 入学検定料返還該当者への返還手続について

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下(ア)(イ)に該当しない者は理由の如何を問わず検定料の返還は行いません。

(ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)者

(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ者

**該当する者は、入試課(0749-27-1023)まで連絡してください。なお、返還請求に際しては、「振替払込請求書兼受領証」が必要ですので、請求まで大切に保管しておいてください。**

## 4. 出 願 手 続

### 1. 出 願 書 類 等

| 出 願 書 類 等                     | 摘 要   |
|-------------------------------|---|
| 1 入 学 志 願 票                   | ・本研究科所定の用紙を使用してください。  |
| 2 受 験 票                       | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・氏名等を記入してください。  |
| 3 写 真 票                       | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・写真貼付欄に記載された要件を充たした写真を貼付してください。   |
| 4 検 定 料 納 付 確 認 票             | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・所定欄に受付印を受けた「振替払込受付証明書」を貼付してください。   |
| 5 卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書 | ・出身大学長又は学部長が作成したもの。 <b>なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。</b><br>・本学経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。     |
| 6 成 績 証 明 書                   | ・出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの。 <b>なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。</b><br>・本学経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。 |
| 7 研 究 計 画 書                   | ・本研究科所定の用紙を使用してください。  |
| 8 TOEIC の公式認定証 (該当者のみ)        | ・筆記試験で「英語」を選択する者は、出願開始日から起算して過去2年以内に受験したもの。(1通)17頁「7. TOEIC公式認定書の提出等」を参照。   |
| 9 在留カードのコピー (外国人のみ)           | ・在留カードの表面と裏面のコピーを提出してください。<br>・在留カードの交付を受けていない者は、パスポートの顔写真のページのコピーを提出してください。  |
| 10 「受験票等在中」封筒                 | ・本学所定の封筒を使用してください。<br>・受験票受取人の郵便番号、住所、氏名を記入し、392円分の切手(簡易書留)を貼付してください。   |
| 11 あ て 名 票                    | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・合格通知書受取人(日本国内の連絡先)の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。   |

(注) 5 卒業証明書又は卒業見込証明書、6 成績証明書を除く出願書類については、日本語以外で書かれたものは、必ず日本語訳を添付してください。5 卒業証明書又は卒業見込証明書、6 成績証明書については、日本語・英語以外で書かれたものは、日本語訳を添付してください。

日本語訳については、**公的機関または公的翻訳資格を有する者が行ったものに限り**ます。

**該当する者(機関)が無い場合は、第三者(機関)によるものとします。**

### 2. 出 願 上 の 注 意 事 項

- (1) 出願書類により氏名等が相違する場合は、これを確認できる証明書(戸籍抄本等)を添付してください。
- (2) 入学検定料を払い込み後、出願書類を一括して本研究科所定の封筒に同封し、郵送又は持参により提出してください。**なお、払い込み済みの「振替払込受付証明書」が貼付していない場合は、出願を受理しません。**
- (3) 郵送の場合は、出願期間内に到着するよう必ず「書留速達」で送付してください。
- (4) 出願書類の分割提出は、受け付けません。
- (5) 不備のある出願書類は、受け付けません。
- (6) 出願書類受理後は、記入事項の変更を認めません。
- (7) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

### 3. 出願書類の提出先

滋賀大学入試課 (〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号)

## 5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、出願書類及び学力検査（筆記試験及び口述試験）の結果を総合して判定します。

なお、「英語」については、本学での試験は実施せず、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施する TOEIC (Listening & Reading Test) 【以下「TOEIC」という。】の成績を利用します。（詳細については、次頁「7. TOEIC 公式認定書の提出等」を参照してください。）

また、入学後の主指導教員は、研究計画等を勘案して、希望する指導教員から変更することがあります。

## 6. 学 力 検 査 科 目 及 び 要 領

### 1. 筆記試験

#### (1) 出題科目等

| 類 型      | 出 題 科 目                         |
|----------|---------------------------------|
| A類 経済学   | 「理論経済学」「政治経済学」「統計学」「金融論」「国際経済論」 |
| B類 経営学   | 「経営学総論」「マーケティング論」               |
| C類 財 政   | 「財政学」                           |
| D類 社会・歴史 | 「経済・経営史」                        |
| E類 会計学   | 「管理会計」                          |
| F類 英 語   | 「英語」                            |

注 「英語」については、本学での試験は実施せず、TOEIC (Listening & Reading Test) の成績を 100 点満点に換算して利用します。

#### (2) 科目等選択方法

| 専攻名              | 科 目 等 選 択 方 法  |
|------------------|--|
| 経済学              | A類, C類, D類, F類 から 2 科目を選択  |
| 経営学              | B類, E類, F類 から 2 科目を選択  |
| グローバル・<br>ファイナンス | A類, C類, E類, F類 から 2 科目を選択<br>ただし、内 1 科目は「金融論」、「財政学」、「税法」、「財務会計」、<br>「管理会計」の中より選択 |

注 「英語」以外の 2 科目を選択する者は、出願時に解答する順序を指定してください。  
なお、試験当日に受験科目及び解答順序の変更はできません。

### 2. 口述試験

提出された「研究計画書」を中心に、希望研究分野に関して口頭試問します。

3. 学力検査期日及び試験時間

| 試験科目 |         | 期日            | 試験時間          |
|------|---------|---------------|---------------|
| 筆記試験 | 英語選択者   | 平成31年1月26日(土) | 9時30分～11時00分  |
|      | 英語以外選択者 |               | 9時30分～11時00分  |
|      |         |               | 11時10分～12時40分 |
| 口述試験 |         |               | 14時00分～       |

4. 試験場

滋賀大学大学院経済学研究科

彦根市馬場一丁目1番1号

7. TOEIC 公式認定書の提出等

TOEIC の成績は、出願開始日から起算して過去2年以内に受験したものを有効としますので、公式認定書 (Official Score Certificate) 【原本に限る】を提出してください。(複数回受験している場合は採用を希望するいずれか1つ)

公式認定証提出に関しては、スコア部分を切り離さずに提出してください。公式認定証の提出がない場合には、本研究科が実施する他の試験を受験していても、合否判定の対象にはなりません。

なお、TOEIC 公開テストに関する問い合わせは、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会に問い合わせてください。

8. 合格者発表

1. 合格者発表日時・場所

平成31年2月1日(金) 13時(予定) 彦根キャンパス正門掲示板

2. 合格通知等

合格者には、合格通知書を郵送します。この合格通知書及び掲示板の掲示をもって、正式な通知といたします。また、入試情報ホームページにおいても同時刻より合格者を速報いたします。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

●以下は共通事項(32頁)へ続く

1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談
2. 受験上の注意事項
3. 入学試験の実施に関する注意事項
4. 入学料・授業料等
5. 入学手続
6. 外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除制度
7. 長期履修学生制度
8. 個人情報の取扱い
9. 入学試験個人成績の開示
10. その他

# 社会人入試（冬季）学生募集要項 （一般社会人・熟年社会人）

## 1. 募集の趣旨

本研究科はこれまで、社会生活上の様々な経験を有する社会人に、大学院でのより深められた再学習や職業的専門的知識修得の機会を与えるために、小規模の社会人入試を実施してきました。しかしながら、近年における国際化・情報化の急速な進展のもとで、生涯学習の多様なありかたの一貫として、社会人への大学院のより広い門戸開放は、社会的要請となっています。

そこで、本研究科は「一般社会人」の他に、「熟年社会人」「派遣社会人」というそれぞれ出願資格・選抜方法を異にする類型を設定し、社会人の多様な学習・研究ニーズに対応しています。

「熟年社会人」は、主として中高年の有職者と就業経験者及び主婦の職業生活・社会生活上の様々な経験に基づく専門学習・研究ニーズに対応するものであり、「派遣社会人」は、官庁、企業等における職員の高度専門職業人としての再教育の要請に応えようとするものです。

なお、合格後これらの社会人院生は、大学院設置基準第14条により、第2学年次において夜間における講義を受講することができます。

## 2. 出願資格

1. **一般社会人**については、次の各号のいずれかに該当し、かつ【出願時において大学卒業後若しくは学士の学位取得後1年以上社会人としての経験を有する者】又は【平成31年4月1日現在、満25歳以上の者】
  - (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
  - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
  - (3) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
  - (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込の者
  - (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込の者
  - (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
  - (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
  - (8) 文部科学大臣の指定した者
  - (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者〔注〕

〔注〕 出願資格(9)により出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行うので、事前に「出願資格審査要領」を本学入試課あてに請求し、**その申請を平成30年11月29日(木)までに行うこと**。この期限までに申請を行わない場合には、資格審査が受けられなくなることがあります。

なお、出願資格審査要領は入試情報ホームページから入手することもできます。  
URL <http://www.shiga-u.ac.jp/admission/>

2. **熟年社会人**については、一般社会人の中で平成31年4月1日現在、満40歳以上の者

### 3. 出願期間

平成30年12月17日(月)から12月21日(金) 17時(必着)

- (1) 郵送(書留速達)の場合は、期間内必着としますので、郵便事情を十分考慮して送付してください。
- (2) 持参の場合は、各日9時30分～17時まで受け付けます。

### 4. 入学検定料

30,000円

- (1) 入学検定料は、平成30年12月10日(月)から12月21日(金)の期間に払い込んでください。
- (2) 入学検定料は本学所定の5連式払込用紙を使用して、最寄りの銀行又は郵便局窓口から払い込んでください。**なお、現金自動預払機(ATM)は利用できません。**
- (3) 滋賀銀行の本・支店から滋賀銀行彦根支店への払い込みの場合のみ、手数料は不要です。その他の金融機関(滋賀銀行以外の銀行・郵便局等)からの払い込みは手数料が必要となります。
- (4) 払い込み後、「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書」を受け取り、受付印があることを確認してください。  
なお、受付印を受けた「**振替払込受付証明書**」は、検定料納付確認票の所定欄に貼付してください。
- (5) 持参の場合も銀行又は郵便局で入学検定料を払い込み後、出願書類一式を持参してください。
- (6) **出願時現在、日本国政府(文部科学省)から奨学金を得ている留学生は納付不要です。**  
この場合はその旨を出願時に申し出てください。ただし、他大学に在籍している者は、当該大学が発行する「**国費外国人留学生証明書**」を提出してください。

#### (注) 入学検定料返還該当者への返還手続について

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下(ア)(イ)に該当しない者は理由の如何を問わず検定料の返還は行いません。

(ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)者

(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ者

**該当する者は、入試課(0749-27-1023)まで連絡してください。なお、返還請求に際しては、「振替払込請求書兼受領証」が必要ですので、請求まで大切に保管しておいてください。**

## 5. 出願手続

### 1. 出願書類等

| 出 願 書 類 等 |                             | 摘 要   |
|-----------|-----------------------------|---|
| 1         | 入 学 志 願 票                   | ・本研究科所定の用紙を使用してください。  |
| 2         | 受 験 票                       | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・氏名等を記入してください。  |
| 3         | 写 真 票                       | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・写真貼付欄に記載された要件を充たした写真を貼付してください。   |
| 4         | 検 定 料 納 付 確 認 票             | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・受付印を受けた「振替払込受付証明書」を貼付してください。   |
| 5         | 卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書 | ・出身大学長又は学部長が作成したもの。 <b>なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。</b><br>・本学経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。<br>・本学経済学部及び本研究科の研究生として <b>原本又は、原本証明した卒業後の証明書</b> で出願している者は、提出する必要はありません。     |
| 6         | 成 績 証 明 書                   | ・出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの。 <b>なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。</b><br>・本学経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。<br>・本学経済学部及び本研究科の研究生として <b>原本又は、原本証明した卒業後の証明書</b> で出願している者は、提出する必要はありません。 |
| 7         | 志 願 理 由 書                   | ・本研究科所定の用紙を使用してください。  |
| 8         | 研 究 計 画 書                   | ・本研究科所定の用紙を使用してください。  |
| 9         | 小 論 文<br>(熟年社会人のみ)          | ・「博士前期課程で研究したいテーマ」についての小論文(400字詰原稿用紙10枚～20枚)を提出してください。<br>*ワープロの場合はA4サイズで4,000字～8,000字とする。  |
| 10        | 研 究 業 績 書                   | ・本研究科所定の用紙を使用してください。  |
| 11        | 在留カードのコピー<br>(外国人のみ)        | ・在留カードの表面と裏面のコピーを提出してください。<br>・在留カードの交付を受けていない者は、パスポートの顔写真のページのコピーを提出してください。  |
| 12        | 「受験票等在中」<br>封 筒             | ・本学所定の封筒を使用してください。<br>・受験票受取人の郵便番号、住所、氏名を記入し、392円分の切手(簡易書留)を貼付してください。   |
| 13        | あ て 名 票                     | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・合格通知書受取人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。   |

(注) 5 卒業証明書又は卒業見込証明書, 6 成績証明書を除く出願書類については, 日本語以外で書かれたものは, 必ず日本語訳を添付してください。5 卒業証明書又は卒業見込証明書, 6 成績証明書については, 日本語・英語以外で書かれたものは, 日本語訳を添付してください。日本語訳については, 公的機関または公的翻訳資格を有する者が行ったものに限ります。該当する者(機関)が無い場合は, 第三者(機関)によるものとします。

## 2. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類により氏名等が相違する場合は、これを確認できる証明書（戸籍抄本等）を添付してください。
- (2) 入学検定料を払い込み後、出願書類を一括して本研究科所定の封筒に同封し、郵送又は持参により提出してください。**なお、払い込み済みの「振替払込受付証明書」が貼付していない場合は、出願を受理しません。**
- (3) 郵送の場合は、出願期間内に到着するよう必ず「書留速達」で送付してください。
- (4) 出願書類の分割提出は、受け付けません。
- (5) 不備のある出願書類は、受け付けません。
- (6) 出願書類受理後は、記入事項の変更を認めません。
- (7) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

## 3. 出願書類の提出先

滋賀大学入試課 (〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号)

## 6. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、一般社会人及び熟年社会人に分け、それぞれについて出願書類及び学力検査（筆記試験及び口述試験）の結果を総合して判定します。

なお、入学後の主指導教員は、研究計画等を勘案して、希望する指導教員から変更することがあります。

## 7. 学 力 検 査 科 目 及 び 要 領

### 1. 一般社会人

#### (1) 筆記試験

##### ①出題科目等

| 類 型      | 出 題 科 目                         |
|----------|---------------------------------|
| A類 経済学   | 「理論経済学」「政治経済学」「統計学」「金融論」「国際経済論」 |
| B類 経営学   | 「経営学総論」「マーケティング論」               |
| C類 財 政   | 「財政学」                           |
| D類 社会・歴史 | 「経済・経営史」                        |
| E類 会計学   | 「管理会計」                          |

##### ②科目等選択方法

| 専攻名              | 科 目 等 選 択 方 法       |
|------------------|---------------------|
| 経済学              | A類, C類, D類 から1科目を選択 |
| 経営学              | B類, E類 から1科目を選択     |
| グローバル・<br>ファイナンス | A類, C類, E類 から1科目を選択 |

#### (2) 口述試験

提出された「研究計画書」を中心に、希望研究分野に関して口頭試問します。



(3) 学力検査期日及び試験時間

| 試験科目 | 期 日           | 試験時間         |
|------|---------------|--------------|
| 筆記試験 | 平成31年1月26日(土) | 9時30分～11時00分 |
| 口述試験 | 同上            | 13時00分～      |

2. 熟年社会人

(1) 筆記試験

出願時に提出された「博士前期課程で研究したいテーマ」についての小論文をもってかえます。

(2) 口述試験 上記の小論文を中心として行います。

(3) 学力検査期日及び試験時間

| 試験科目 | 期 日           | 試験時間   |
|------|---------------|--------|
| 口述試験 | 平成31年1月26日(土) | 9時30分～ |

3. 試験場

滋賀大学大学院経済学研究科

彦根市馬場一丁目1番1号

8. 合格者発表

1. 合格者発表日時・場所

平成31年2月1日(金) 13時(予定) 彦根キャンパス正門掲示板

2. 合格通知等

合格者には、合格通知書を郵送します。この合格通知書及び掲示板の掲示をもって、正式な通知といたします。また、入試情報ホームページにおいても同時刻より合格者を速報いたします。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

●以下は共通事項(32頁)へ続く

1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談
2. 受験上の注意事項
3. 入学試験の実施に関する注意事項
4. 入学料・授業料等
5. 入学手続
6. 外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除制度
7. 長期履修学生制度
8. 個人情報の取扱い
9. 入学試験個人成績の開示
10. その他

# 社会人入試（冬季）学生募集要項 （派遣社会人）

## 1. 募集の趣旨

本研究科は、現在の多様な生涯学習の要請に答えるべく、社会人へのより広い門戸開放の措置として、「一般社会人」の他に、「熟年社会人」「派遣社会人」というそれぞれ出願資格・選抜方法を異にする募集類型を設定しています。

「派遣社会人」は、官庁、企業等における職員の高度専門職業人としての再教育の要請に応えようとするものであり、先の事業所（官公庁、銀行、企業、各種団体等）に勤務する者で、その事業所から派遣証明のある者を対象としています。

なお、合格後この社会人院生も、大学院設置基準第14条により、第2学年次において夜間における講義を受講することができます。

## 2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ【出願時において大学卒業後若しくは学士の学位取得後1年以上社会人としての経験を有する者】又は【平成31年4月1日現在、満25歳以上の者】で、出願時に事業所（官公庁、銀行、企業、各種団体等）に勤務し、その事業所から派遣証明のある者

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者〔注〕

〔注〕出願資格(6)により出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行うので、事前に「出願資格審査要領」を本学入試課あてに請求し、**その申請を平成30年11月29日(木)までに行うこと**。この期限までに申請を行わない場合には、資格審査が受けられなくなることがあります。

なお、出願資格審査要領は入試情報ホームページから入手することもできます。

URL <http://www.shiga-u.ac.jp/admission/>

## 3. 出願期間

平成30年12月17日(月)から12月21日(金) 17時(必着)

- (1) 郵送（書留速達）の場合は、期間内必着としますので、郵便事情を十分考慮して送付してください。
- (2) 持参の場合は、各日9時30分～17時まで受け付けます。

## 4. 入学検定料

30,000 円

- (1) 入学検定料は、平成 30 年 12 月 10 日(月)から平成 30 年 12 月 21 日(金)の期間に払い込んでください。
- (2) 入学検定料は本学所定の 5 連式払込用紙を使用して、最寄りの銀行又は郵便局窓口から払い込んでください。**なお、現金自動預払機(ATM)は利用できません。**
- (3) 滋賀銀行の本・支店から滋賀銀行彦根支店への払い込みの場合のみ、手数料は不要です。その他の金融機関（滋賀銀行以外の銀行・郵便局）からの払い込みは手数料が必要となります。
- (4) 払い込み後、「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書」を受け取り、受付印があることを確認してください。  
 なお、受付印を受けた「**振替払込受付証明書**」は、検定料納付確認票の所定欄に貼付してください。
- (5) 持参の場合も銀行又は郵便局で入学検定料を払い込み後、出願書類一式を持参してください。

### (注) 入学検定料返還該当者への返還手続について

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下(ア)(イ)に該当しない者は理由の如何を問わず検定料の返還は行いません。

- (ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者
- (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ者

**該当する者は、入試課(0749-27-1023)まで連絡してください。なお、返還請求に際しては、「振替払込請求書兼受領証」が必要ですので、請求まで大切に保管しておいてください。**

## 5. 出 願 手 続

### 1. 出 願 書 類 等

| 出 願 書 類 等                        | 摘 要   |
|----------------------------------|---|
| 1 入 学 志 願 票                      | ・本研究科所定の用紙を使用してください。  |
| 2 受 験 票                          | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・氏名等を記入してください。  |
| 3 写 真 票                          | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・写真貼付欄に記載された要件を充たした写真を貼付してください。   |
| 4 検 定 料 納 付 確 認 票                | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・受付印を受けた「振替払込受付証明書」を貼付してください。   |
| 5 卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書    | ・出身大学長又は学部長が作成したもの。 <b>なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。</b><br>・本学経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。     |
| 6 成 績 証 明 書                      | ・出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの。 <b>なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。</b><br>・本学経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。 |
| 7 志 願 理 由 書                      | ・本研究科所定の用紙を使用してください。  |
| 8 詳 細 な 研 究 計 画 書                | ・本研究科所定の用紙を使用してください。(2,000字～4,000字)   |
| 9 研 究 業 績 書                      | ・本研究科所定の用紙を使用してください。  |
| 10 派 遣 証 明 書                     | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・派遣責任者が作成してください。<br>・派遣責任者が出願者本人である場合は、業界団体等（例えば商工会議所など）の第三者による推薦書を別途提出してください。              |
| 11 在 留 カ ー ド の コ ピ ー (外 国 人 の み) | ・在留カードの表面と裏面のコピーを提出してください。<br>・在留カードの交付を受けていない者は、パスポートの顔写真のページのコピーを提出してください。  |
| 12 「 受 験 票 等 在 中 」 封 筒           | ・本学所定の封筒を使用してください。<br>・受験票受取人の郵便番号、住所、氏名を記入し、392円分の切手（簡易書留）を貼付してください。   |
| 13 あ て 名 票                       | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・合格通知書受取人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。   |

(注) 5 卒業証明書又は卒業見込証明書, 6 成績証明書を除く出願書類については、日本語以外で書かれたものは、必ず日本語訳を添付してください。5 卒業証明書又は卒業見込証明書, 6 成績証明書については、日本語・英語以外で書かれたものは、日本語訳を添付してください。  
日本語訳については、公的機関または公的翻訳資格を有する者が行ったものに限ります。  
該当する者(機関)が無い場合は、第三者(機関)によるものとします。

## 2. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類により氏名等が相違する場合は、これを確認できる証明書（戸籍抄本等）を添付してください。
- (2) 入学検定料を払い込み後、出願書類を一括して本研究科所定の封筒に同封し、郵送又は持参により提出してください。**なお、払い込み済みの「振替払込受付証明書」が貼付していない場合は、出願を受理しません。**
- (3) 郵送の場合は、出願期間内に到着するよう必ず「書留速達」で送付してください。
- (4) 出願書類の分割提出は、受け付けません。
- (5) 不備のある出願書類は、受け付けません。
- (6) 出願書類受理後は、記入事項の変更を認めません。
- (7) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

## 3. 出願書類の提出先

滋賀大学入試課 (〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号)

## 6. 選抜方法及び口述試験要領

### 1. 選抜方法

入学者の選抜は、提出された「詳細な研究計画書」を含む出願書類及び口述試験の結果を総合して判定します。

なお、入学後の主指導教員は、研究計画等を勘案して、希望する指導教員から変更することがあります。

### 2. 口述試験期日及び試験時間

|               |         |
|---------------|---------|
| 平成31年1月26日(土) | 13時00分～ |
|---------------|---------|

### 3. 試験場

滋賀大学大学院経済学研究科 彦根市馬場一丁目1番1号

## 7. 合格者発表

### 1. 合格者発表日時・場所

平成31年2月1日(金) 13時(予定) 彦根キャンパス正門掲示板

### 2. 合格通知等

合格者には、合格通知書を郵送します。この合格通知書及び掲示板の掲示をもって、正式な通知といたします。また、入試情報ホームページにおいても同時刻より合格者を速報いたします。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

## ●以下は共通事項(32頁)へ続く

1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談
2. 受験上の注意事項
3. 入学試験の実施に関する注意事項
4. 入学料・授業料等
5. 入学手続
6. 外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除制度
7. 長期履修学生制度
8. 個人情報の取扱い
9. 入学試験個人成績の開示
10. その他

# 外国人留学生入試（冬季）学生募集要項

## 1. 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、かつAに該当する者（日本国永住許可を得ている者を除く）

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、経済学、経営学及び商学関係の学士相当の知識を有する者

**ただし、日本の大学(大学院を含む)を卒業又は卒業見込みの者は出願資格を有しない。**

- (2) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年4月1日現在、22歳に達した者〔注〕

A. 出入国管理及び難民認定法において大学入学資格に支障のない在留資格を有する者及び取得できる見込みの者

- 例えば、3年制の専科大学の卒業生で、学校教育における16年の課程に満たない者でも、大学等の研究生などの教育歴・研究歴があるなどの場合には、次の申請期限までに資格審査の申請を行うことで、出願が認められる場合があります。

〔注〕 出願資格(2)により出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行うので、事前に「出願資格審査要領」を本学入試課あてに請求し、**その申請を平成30年11月29日(木)までに行うこと**。この期限までに申請を行わない場合には、資格審査が受けられなくなることがあります。

なお、出願資格審査要領は入試情報ホームページから入手することもできます。

URL <http://www.shiga-u.ac.jp/admission/>

## 2. 出願期間

平成30年12月17日(月)から12月21日(金) 17時(必着)

- (1) 郵送（書留速達）の場合は、期間内必着としますので、郵便事情を十分考慮して送付してください。
- (2) 持参の場合は、各日9時30分～17時まで受け付けます。

### 3. 入学検定料

30,000 円

- (1) 入学検定料は、平成 30 年 12 月 10 日(月)から 12 月 21 日(金)の期間に払い込んでください。
- (2) 入学検定料は本学所定の 5 連式払込用紙を使用して、最寄りの銀行又は郵便局窓口から払い込んでください。**なお、現金自動預払機(ATM)は利用できません。**
- (3) 滋賀銀行の本・支店から滋賀銀行彦根支店への払い込みの場合のみ、手数料は不要です。その他の金融機関(滋賀銀行以外の銀行・郵便局等)からの払い込みは手数料が必要となります。
- (4) 払い込み後、「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書」を受け取り、受付印があることを確認してください。  
なお、受付印を受けた「**振替払込受付証明書**」は、検定料納付確認票の所定欄に貼付してください。
- (5) 持参の場合も銀行又は郵便局で入学検定料を払い込み後、出願書類一式を持参してください。
- (6) **出願時現在、日本国政府(文部科学省)から奨学金を得ている留学生は納付不要です。**  
この場合はその旨を出願時に申し出てください。ただし、他大学に在籍している者は、当該大学が発行する「国費外国人留学生証明書」を提出してください。

#### (注) 入学検定料返還該当者への返還手続について

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下(ア)(イ)に該当しない者は理由の如何を問わず検定料の返還は行いません。

- (ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)者
- (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ者

**該当する者は、入試課(0749-27-1023)まで連絡してください。なお、返還請求に際しては、「振替払込請求書兼受領証」が必要ですので、請求まで大切に保管しておいてください。**

## 4. 出願手続

### 1. 出願書類等

| 出 願 書 類 等 |                         | 摘 要  |
|-----------|-------------------------|--|
| 1         | 入 学 志 願 票               | ・本研究科所定の用紙を使用してください。   |
| 2         | 受 験 票                   | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・氏名等を記入してください。   |
| 3         | 写 真 票                   | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・写真貼付欄に記載された要件を充たした写真を貼付してください。  |
| 4         | 検 定 料 納 付 確 認 票         | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・受付印を受けた「 <b>振替払込受付証明書</b> 」を貼付してください。   |
| 5         | 最 終 学 校 の 卒 業 証 明 書     | ・出身大学長（学校長）又は学部長が作成したもの。 <b>なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。</b><br>・英語以外で書かれたものは、日本語訳を添付してください。<br>・本学経済学部及び本研究科の外国人研究生として <b>原本又は、原本証明した卒業後の証明書</b> で出願している者は、提出する必要はありません。                            |
| 6         | 最 終 学 校 の 学 業 成 績 証 明 書 | ・出身大学長（学校長）又は学部長が作成し、厳封したもの。 <b>なお、この証明書は原本又は、原本証明したものであること。</b><br>・英語以外で書かれたものは、日本語訳を添付してください。<br>・本学経済学部及び本研究科の外国人研究生として <b>原本又は、原本証明した卒業後の証明書</b> で出願している者は、提出する必要はありません。                      |
| 7         | 研 究 計 画 書               | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・これまでの学習内容及び将来の研究計画について、具体的かつ詳細に日本語で志願者が自筆で書いてください。  |
| 8         | 推 薦 書 又 は 紹 介 書         | ・次のうちのいずれか1つを提出してください。<br>(1)出身大学の学長、学部長、又は指導教員若しくはこれに準ずる者の推薦書<br>(2)自国政府又は駐日公館の推薦書<br>(3)外務省又は在外公館の紹介状<br>(4)本学又は他学の外国人研究生として在籍している者は、指導教員の推薦書  |
| 9         | 日 本 語 を 修 得 して いる 証 明 書 | ・財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験レベル N1 若しくは旧 1 級の成績通知書の写し又は、日本語能力について日本語能力試験レベル N1 若しくは旧 1 級に準じる到達度が証明された書類を提出してください。<br>・本学経済学部及び本研究科の外国人研究生として在籍している者は、提出する必要はありません。<br>・出願資格審査申請時に提出した者は、提出する必要はありません。 |
| 10        | 在 留 カ ー ド の コ ピ ー       | ・在留カードの表面と裏面のコピーを提出してください。<br>・在留カードの交付を受けていない者は、パスポートの顔写真のページのコピーを提出してください。   |
| 11        | 「 受 験 票 等 在 中 」 封 筒     | ・本学所定の封筒を使用してください。<br>・受験票受取人の郵便番号、住所、氏名を記入し、392 円分の切手（簡易書留）を貼付してください。   |
| 12        | あ て 名 票                 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。<br>・合格通知書受取人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。  |

(注) 5 最終学校の卒業証明書、6 最終学校の学業成績証明書を除く出願書類については、日本語以外で書かれたものは、必ず日本語訳を添付してください。5 最終学校の卒業証明書、6 最終学校の学業成績証明書については、日本語・英語以外で書かれたものは、日本語訳を添付してください。日本語訳については、公的機関または公的翻訳資格を有する者が行ったものに限ります。該当する者(機関)が無い場合は、第三者(機関)によるものとします。



## 2. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類により氏名等が相違する場合は、これを確認できる証明書（戸籍抄本等）を添付してください。
- (2) 入学検定料を払い込み後、出願書類を一括して本研究科所定の封筒に同封し、郵送又は持参により提出してください。**なお、払い込み済みの「振替払込受付証明書」が貼付していない場合は、出願を受理しません。**
- (3) 郵送の場合は、出願期間内に到着するよう必ず「書留速達」で送付してください。
- (4) 出願書類の分割提出は、受け付けません。
- (5) 不備のある出願書類は、受け付けません。
- (6) 出願書類受理後は、記入事項の変更を認めません。
- (7) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

## 3. 出願書類の提出先

滋賀大学入試課 (〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号)

## 5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、出願書類及び学力検査（筆記試験及び口述試験）の結果を総合して判定します。

なお、入学後の主指導教員は、研究計画等を勘案して、希望する指導教員から変更することがあります。

## 6. 学 力 検 査 科 目 及 び 要 領

### 1. 筆記試験

#### (1) 出題科目等

| 類 型      | 出 題 科 目                         |
|----------|---------------------------------|
| A類 経済学   | 「理論経済学」「政治経済学」「統計学」「金融論」「国際経済論」 |
| B類 経営学   | 「経営学総論」「マーケティング論」               |
| C類 財 政   | 「財政学」                           |
| D類 社会・歴史 | 「経済・経営史」                        |
| E類 会計学   | 「管理会計」                          |

#### (2) 科目等選択方法

| 専攻名              | 科 目 等 選 択 方 法       |
|------------------|---------------------|
| 経済学              | A類, C類, D類 から1科目を選択 |
| 経営学              | B類, E類 から1科目を選択     |
| グローバル・<br>ファイナンス | A類, C類, E類 から1科目を選択 |

注：筆記試験は日本語で出題します。

### 2. 口述試験

提出された「研究計画書」を中心に、希望研究分野に関して口頭試問します。

### 3. 学力検査期日及び試験時間

| 試験科目 | 期日            | 試験時間         |
|------|---------------|--------------|
| 筆記試験 | 平成31年1月26日(土) | 9時30分～11時00分 |
| 口述試験 | 同上            | 13時00分～      |

### 4. 試験場

滋賀大学大学院経済学研究科

彦根市馬場一丁目1番1号

## 7. 合格者発表

### 1. 合格者発表日時・場所

平成31年2月1日(金) 13時(予定) 彦根キャンパス正門掲示板

### 2. 合格通知等

合格者には、合格通知書を郵送します。この合格通知書及び掲示板の掲示をもって、正式な通知といたします。また、入試情報ホームページにおいても同時刻より合格者を速報いたします。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

### ●以下は共通事項(32頁)へ続く

1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談
2. 受験上の注意事項
3. 入学試験の実施に関する注意事項
4. 入学料・授業料等
5. 入学手続
6. 外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除制度
7. 長期履修学生制度
8. 個人情報の取扱い
9. 入学試験個人成績の開示
10. その他

# 【 共 通 事 項 】

## 1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

本学大学院に入学を志願する者で、障害等により、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性のある者は、以下により受験上等の配慮申請書を提出し相談してください。

なお、期限後に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮が必要となった場合には、その時点で速やかに電話等により相談してください。

(1) 受験上等の配慮申請書の記載内容

- ① 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- ② 出願する入試区分、志望専攻
- ③ 障害等の状況（現に治療中の者は、医師の診断書（コピー可）を添付すること）
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 日常生活の状況

(2) 配慮申請書の提出時期 出願開始日まで

(3) 書類の提出先 出願書類の提出先と同じ

※ 配慮申請書はA4サイズ（日本工業規格）の用紙に上記の内容を記載したもの（様式は任意）を作成、または、本学ホームページ（<http://www.shiga-u.ac.jp/>）「トップページ」→「入学案内」→「受験案内」内の受験上等の配慮事前相談に掲載の様式データファイルをダウンロードのうえ作成してください。

## 2. 受験上の注意事項

- (1) 受験する際は、受験票を必ず持参してください。
- (2) 試験開始 15 分前までに試験室（口述試験においては口述試験待機室）に入室し、筆記試験においては、各自の受験番号が表示された座席に着席してください。
- (3) 筆記試験で使用できるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）に限ります。携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤーなどの音の出る機器、及び腕時計型端末等の電子機器類を持っている者は、電源を切りかばん等に入れてください。それらを身に付けることはできません。
- (4) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。筆記試験については、試験開始後 30 分以内の遅刻に限り受験を認めます。判断場所は、受験票の注意事項で確認してください。
- (5) 監督者の指示した時間内は退出することができません。
- (6) 一般入試の筆記試験（英語以外選択者）の試験時間の間の 10 分間は、休憩時間ではありませんので、用便等で一時退室することはできません。
- (7) 試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者（面接員）の指示に従ってください。
- (8) 筆記試験において解答用紙が足りない場合は、監督者に申し出てください。
- (9) 筆記試験を欠席した場合は、口述試験を受験することはできません。
- (10) 他の受験者に迷惑な行為をした者、監督者（面接員）の指示に従わない者、不正行為をした（しようとした）者は、受験資格を失います。

## 3. 入学試験の実施に関する注意事項

災害の発生や伝染性疾患の蔓延などにより、入学試験を実施するにあたり安全な受験環境を確保するために適切な措置を講じる必要が生じた場合には、別途、本学ホームページ等で受験者に告知しますので、本学の指示に従ってください。

## 4. 入学料・授業料等

### 1. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 282,000 円
  - (2) 授業料 267,900 円（前期分） [年額 535,800 円]
  - (3) 学生教育研究災害傷害保険料 1,750 円
- (注) 上記の金額は改定される場合があります。

### 2. 諸経費

入学料、授業料及び学生教育研究災害傷害保険料以外に、諸経費として約 45,500 円が必要となります。

## 5. 入学手続

### 1. 入学手続の日時及び場所

日 時 平成 31 年 3 月 15 日(金) 14 時～16 時  
場 所 滋賀大学彦根キャンパス

### 2. 入学手続関係書類の提出

入学手続に必要な書類は、合格通知書とは別に後日まとめて送付しますので、同封の入学手続要領の指示に従って提出してください。

### 3. 入学料及び授業料の納付

- (1) 入学料 282,000 円
  - (2) 学生教育研究災害傷害保険料 1,750 円
- (注)① 上記の金額は改定される場合があります。  
② 既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。  
③ 授業料の納付は入学後になります。また、申し出により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することが出来ます。  
④ 入学料及び授業料は免除制度があります。  
⑤ 授業料が在学中に改定された場合には、改定時から新しい料金が適用されます。  
⑥ 入学料及び学生教育研究災害傷害保険料以外に、諸経費として、次の費用が必要となります。  
経済学研究科 博士前期課程 約 45,500 円  
⑦ 平成 31 年 3 月 29 日(金)17 時までにはやむを得ず入学を辞退した場合は、納付された方の申し出により諸経費を後日返還いたします。

### 4. 入学手続に関する注意事項

合格者が、入学手続を完了しないときは、入学を辞退したものとして取り扱います。  
また、入学料免除申請あるいは入学料徴収猶予申請をされた方が入学手続完了後に入学を辞退する場合は、入学料を納付しないと入学辞退の願い出を受理できません。

## 6. 外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除制度

従来からの授業料免除制度とは別に、外国人留学生を対象とした授業料免除制度を設けています。この制度は、外国人留学生の中で、入学試験時の成績が優秀である者を対象として、授業料の全額（入学年度 1 年間）を免除するものです。詳しくは次の担当係へお問い合わせください。  
学務課大学院係 TEL：0749(27)1032

## 7. 長期履修学生制度

この制度は、職業を有している等のために標準の修業年限で修了することが困難な学生を対象としています。事情に応じて標準の修業年限（2 年）を超えて一定の期間（3 年又は 4 年）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができます。長期履修学生として認められた場合の授業料は、2 年間（標準の修業年限）分の授業料総額を、あらかじめ認められた一定の修業年限で除いた額にして、それぞれの年に支払うことになります。

## 8. 個人情報の取扱い

国立大学法人滋賀大学における学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて

国立大学法人滋賀大学（以下「本学」という。）は、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の不正利用や漏えいを防ぎ、個人情報を適切に取り扱うため、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」及び「国立大学法人滋賀大学保有個人情報管理規程」に則り、個人情報の適切な保護管理に努めています。

本学における学生及び保護者に係る保有個人情報の取扱いは、次のとおりです。

- (1) 本学における学生、保護者等の主な保有個人情報は、入学試験情報及び入学手続き時に提出していただいた情報並びに入学後の修学、学生生活支援、健康等の管理又は指導に必要なものとして作成又は取得した情報であって、その主な情報及び利用目的は次のとおりです。

| 保有個人情報                              | 主な利用目的                   |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 学生本人の氏名、住所、電話番号、生年月日、出身校、写真等        | 学籍簿等の作成及び学生本人との連絡        |
| 保護者等の氏名、住所、電話番号（自宅及び緊急連絡先）、入学者との続柄等 | 保護者等との連絡                 |
| 入試成績、高等学校調査書等の入学者選抜試験情報             | 入学者選抜業務                  |
| 学籍番号、履修登録科目、単位修得期、成績評点、単位等の学籍簿・学修情報 | 修学管理及び修学指導               |
| 授業料債権等の授業料等情報                       | 授業料等債権管理                 |
| 家族構成、所得金額、申請事由、免除の可否等の授業料等免除情報      | 授業料等免除選考                 |
| 家族構成、所得金額、採用の可否、奨学生番号、貸与月額等の奨学生情報   | 奨学生の推薦・選考及び奨学金交付に関する奨学事務 |
| 身長、体重、視力、心電図、X線等の健康診断情報             | 学生の健康管理                  |
| 団体結成届等、課外活動に関する大会参加申込書記載項目等の情報      | 課外活動支援                   |
| 進路希望、卒業後進路先等の就職情報                   | 就職指導                     |

- (2) (1)に掲げる個人情報の利用目的のほか、次に掲げる目的のため保有個人情報を本学職員が利用することがあります。

- ① 卒業（修了）判定結果等の掲示（学籍番号）
- ② 学生名簿の作成及び配布（氏名、学籍番号、クラス分け、担任教員名等）
- ③ 授業料等免除の選考（入学者選抜試験情報、学籍簿情報、奨学生情報等）
- ④ 奨学生の推薦（入学者選抜試験情報、学籍簿情報等）
- ⑤ 保護者等への授業料等免除、奨学生の決定通知

- ⑥ 保護者等への授業料・寄宿料等の督促
  - ⑦ 保護者等への成績通知
  - ⑧ 修学指導，学生生活指導等に係る保護者への諸連絡
  - ⑨ 学生の呼び出し
  - ⑩ 定期試験等の結果の掲示（学籍番号）
  - ⑪ 各種証明書の発行
  - ⑫ 授業実施，教育改革のための研究
  - ⑬ 図書館利用等のサービス提供に係る利用者管理
  - ⑭ 入学者選抜方法改善のための研究（入学者選抜試験情報，学籍簿情報等）
  - ⑮ 在学中及び卒業後の刊行物の発送（氏名，住所等）
  - ⑯ 記録写真，VTR等の広報誌，Webページ等への掲載
  - ⑰ その他法令に違反しない範囲で本学が処理する事務及び事業に関し必要と認めた利用目的
- (3) (1)に掲げる個人情報の利用目的のほか，蓄積された保有個人情報を統計的に処理を行い，個人が特定できない状態で，学生の修学・学習支援のために学生に提供することがあります。
- (4) (1)から(3)に掲げる利用目的に係る個人情報の取扱いの全部又は一部を外部に委託する場合があります。業務委託に当り，本学業務請負契約の規則等に則り，安全確保の措置を講じます。
- (5) 本学関連の後援会及び同窓会並びに教育実習校，介護等体験施設等から要請があった場合は，当該組織の活動に必要な範囲内において学生の個人情報を，安全確保の措置を講じた上，提供することがあります。
- (6) (1)から(5)までの他には，個人情報の利用又は第三者への提供をいたしません。ただし，次に掲げる場合には，本人の同意を得ることなしに，第三者に個人情報を提供することがあります。
- ① 法令に基づき提供を義務づけられた場合
  - ② 行政機関等の公的機関が法令の定める事務又は事業を遂行することに協力する場合
  - ③ 専ら統計又は学術研究を目的とする場合
  - ④ 本人の生命，身体，財産その他の権利利益を保護するため必要と判断した場合
  - ⑤ ②と同程度の公益性があると判断した場合
- (7) 学生，保護者等に係る個人情報の取扱いについての苦情及び相談並びに本人に関する個人情報の開示，訂正又は利用停止の請求があった場合は，学生本人が所属する学部等の担当係で対応します。
- (8) 個人情報の保有又は利用目的が生じた場合，その周知は，文書，メール，口頭説明等による本人への直接通知，掲示又はWebページ上への掲載等内容が本人に認識される合理的かつ適切な方法により行います。

国立大学法人滋賀大学の個人情報の取扱いに関するホームページ  
[http://www.shiga-u.ac.jp/information/info\\_public-info/info\\_personalinfo/](http://www.shiga-u.ac.jp/information/info_public-info/info_personalinfo/)

## 9. 入学試験個人成績の開示

本学では、入学試験の個人成績を受験者本人に限って開示します。平成31年度入学試験（冬季募集）の成績開示希望者は、下記のとおり申し込んでください。

なお、代理人による申し込みは受け付けません。

### (1) 申込方法

#### ① 本学窓口での申し込み

本学受験票（コピー不可）及び印鑑を、必ず受験者本人が下記申込先に持参して申し込んでください。

なお、入試情報開示通知書（開示結果）の受領について郵送を希望する場合は、392円分（簡易書留）の切手を貼付した返信用封筒（長形3号）も併せて持参してください。

#### ② 郵送による申し込み

次の書類等を下記申込先に郵送してください。

ア. 入試情報開示請求書 本人自筆により必要事項記入・押印したもの

入試情報開示請求書の様式は、本学ホームページからダウンロードできますが、ホームページからの入手が困難な場合は、返信用封筒（定形封筒・82円切手貼付）に送付先住所・氏名を記入し下記申込先あてに送付してください。

イ. 本学受験票（コピー不可）

受験票は入試情報開示通知書とともに返信用封筒により返却します。

ウ. 返信用封筒（長形3号） 入試情報開示通知書（開示結果）返送用392円分（簡易書留）切手を貼付し、返送先住所・氏名（本人に限る）を記入してください。

### (2) 申込期間

平成31年5月7日（火）から平成31年5月31日（金）までの祝日等を除く月曜日から金曜日までの各日9時から17時まで（12時から13時を除く）の間

### (3) 申込先



滋賀大学入試課（〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号）

### (4) 成績の開示

「入試情報開示請求書」を受理した日から3週間以内に「入試情報開示通知書」により通知します。

## 10. その他

- (1) 募集要項の請求はインターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）をご利用ください。

|  |   |                                    |   |
|--|---|------------------------------------|---|
| <br>テレメール | <a href="https://telemail.jp/?gsn=0343252&amp;des=034321">https://telemail.jp/?gsn=0343252&amp;des=034321</a><br>パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレスです。 | QRコード<br>※対応するスマートフォン・携帯電話で読み取れます。 |  |
|--|---|------------------------------------|---|

募集要項の請求を郵送で行う場合は、封筒の表に「大学院経済学研究科博士前期課程学生募集要項【冬季】請求」と朱書きし、裏には住所・氏名・連絡先電話番号を記載するとともに、返信用封筒（角形2号：縦33cm・横24cm、郵便切手380円分を貼付し、受信者の郵便番号・住所・氏名を明記したもの）を同封し、下記あてに送付してください。

- (2) この募集要項等受験に関する問い合わせは、下記へ照会してください。

〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学入試課  
電話 0749(27)1023

- (3) 過去の入学試験の筆記試験問題は、入試情報ホームページにおいて公表しています。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。

(参考) 平成30年度滋賀大学大学院経済学研究科入学者選抜状況

| 博士前期課程     | 専攻       | 募集人員   | 志願者           | 受験者           | 合格者           | 入学辞退者      | 入学者           |
|------------|----------|--|---------------|---------------|---------------|------------|---------------|
| 推薦入学夏季     | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 2 (0) *(1)    | 2 (0) *(1)    | 2 (0) *(1)    | 0 (0) *(0) | 2 (0) *(1)    |
|            | G・ファイナンス |  | 1 (0) *(1)    | 1 (0) *(1)    | 1 (0) *(1)    | 0 (0) *(0) | 1 (0) *(1)    |
|            | 計        |  | 3 (0) *(2)    | 3 (0) *(2)    | 3 (0) *(2)    | 0 (0) *(0) | 3 (0) *(2)    |
| 推薦入学冬季     | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 2 (2) *(2)    | 2 (2) *(2)    | 2 (2) *(2)    | 0 (0) *(0) | 2 (2) *(2)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 2 (2) *(2)    | 2 (2) *(2)    | 2 (2) *(2)    | 0 (0) *(0) | 2 (2) *(2)    |
| 一般夏季       | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 8 (3) *(5)    | 7 (3) *(4)    | 3 (1) *(2)    | 0 (0) *(0) | 3 (1) *(2)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 8 (3) *(5)    | 7 (3) *(4)    | 3 (1) *(2)    | 0 (0) *(0) | 3 (1) *(2)    |
| 一般冬季       | 経済学      |  | 1 (0) *(1)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 4 (3) *(3)    | 4 (3) *(3)    | 2 (1) *(1)    | 0 (0) *(0) | 2 (1) *(1)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 5 (3) *(4)    | 4 (3) *(3)    | 2 (1) *(1)    | 0 (0) *(0) | 2 (1) *(1)    |
| 一般二次       | 経済学      |  | 2 (1) *(2)    | 1 (1) *(1)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 1 (1) *(1)    | 1 (1) *(1)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 3 (2) *(3)    | 2 (2) *(2)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
| 社会人夏季(一般)  | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 1 (0) *(1)    | 1 (0) *(1)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 1 (0) *(1)    | 1 (0) *(1)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
| 社会人夏季(熟年)  | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 1 (0) *(0)    | 1 (0) *(0)    | 1 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 1 (0) *(0)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 1 (0) *(0)    | 1 (0) *(0)    | 1 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 1 (0) *(0)    |
| 社会人夏季(派遣)  | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
| 社会人冬季(一般)  | 経済学      | 経済学専攻<br>18名、<br>経営学専攻<br>18名、<br>グローバル・<br>ファイナンス<br>専攻6名 | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
| 社会人冬季(熟年)  | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 1 (0) *(0)    | 1 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 1 (0) *(0)    | 1 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
| 社会人冬季(派遣)  | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
| 社会人二次(一般)  | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
| 社会人二次(熟年)  | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
| 社会人二次(派遣)  | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
| 外国人夏季      | 経済学      |  | 4 (3) *(4)    | 4 (3) *(4)    | 4 (3) *(4)    | 1 (1) *(1) | 3 (2) *(3)    |
|            | 経営学      |  | 6 (3) *(6)    | 6 (3) *(6)    | 4 (3) *(4)    | 0 (0) *(0) | 4 (3) *(4)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 10 (6) *(10)  | 10 (6) *(10)  | 8 (6) *(8)    | 1 (1) *(1) | 7 (5) *(7)    |
| 外国人冬季      | 経済学      |  | 7 (6) *(7)    | 6 (6) *(6)    | 2 (2) *(2)    | 1 (1) *(1) | 1 (1) *(1)    |
|            | 経営学      |  | 10 (6) *(10)  | 10 (6) *(10)  | 4 (3) *(4)    | 2 (2) *(2) | 2 (1) *(2)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 17 (12) *(17) | 16 (12) *(16) | 6 (5) *(6)    | 3 (3) *(3) | 3 (2) *(3)    |
| 外国人二次      | 経済学      |  | 4 (4) *(4)    | 3 (3) *(3)    | 2 (2) *(2)    | 0 (0) *(0) | 2 (2) *(2)    |
|            | 経営学      |  | 3 (2) *(3)    | 2 (1) *(2)    | 2 (1) *(2)    | 0 (0) *(0) | 2 (1) *(2)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 7 (6) *(7)    | 5 (4) *(5)    | 4 (3) *(4)    | 0 (0) *(0) | 4 (3) *(4)    |
| 合計         | 経済学      | 18   | 18 (14) *(18) | 14 (13) *(14) | 8 (7) *(8)    | 2 (2) *(2) | 6 (5) *(6)    |
|            | 経営学      | 18   | 39 (20) *(32) | 37 (19) *(30) | 20 (11) *(16) | 2 (2) *(2) | 18 (9) *(14)  |
|            | G・ファイナンス | 6  | 1 (0) *(1)    | 1 (0) *(1)    | 1 (0) *(1)    | 0 (0) *(0) | 1 (0) *(1)    |
|            | 計        | 42   | 58 (34) *(51) | 52 (32) *(45) | 29 (18) *(25) | 4 (4) *(4) | 25 (14) *(21) |
| ◎国費外国人(内数) | 経済学      |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 経営学      |  | 1 (1) *(1)    | 1 (1) *(1)    | 1 (1) *(1)    | 0 (0) *(0) | 1 (1) *(1)    |
|            | G・ファイナンス |  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
|            | 計        |  | 1 (1) *(1)    | 1 (1) *(1)    | 1 (1) *(1)    | 0 (0) *(0) | 1 (1) *(1)    |
| 博士後期課程     | 経済経営リスク  | 6  | 2 (0) *(1)    | 2 (0) *(1)    | 1 (0) *(1)    | 0 (0) *(0) | 1 (0) *(1)    |
| 博士後期課程二    | 経済経営リスク  | 若干名  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |
| 合計         | 経済経営リスク  | 6  | 2 (0) *(1)    | 2 (0) *(1)    | 1 (0) *(1)    | 0 (0) *(0) | 1 (0) *(1)    |
| ◎国費外国人(内数) |          | 経済経営リスク  | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0)    | 0 (0) *(0) | 0 (0) *(0)    |

( )内は女子で内数、\*付は外国人で内数



## 出願書類等一覧（本研究科所定用紙等）

- ・ 入学検定料払込書
- ・ 入学志願票
- ・ 受験票
- ・ 写真票
- ・ 検定料納付確認票
- ・ 志願理由書
- ・ 研究計画書
- ・ 詳細な研究計画書
- ・ 評価・推薦書
- ・ 研究業績書
- ・ 派遣証明書
- ・ あて名票
- ・ 「受験票等在中」封筒
- ・ 「出願書類在中」封筒

## 記入上の注意事項等

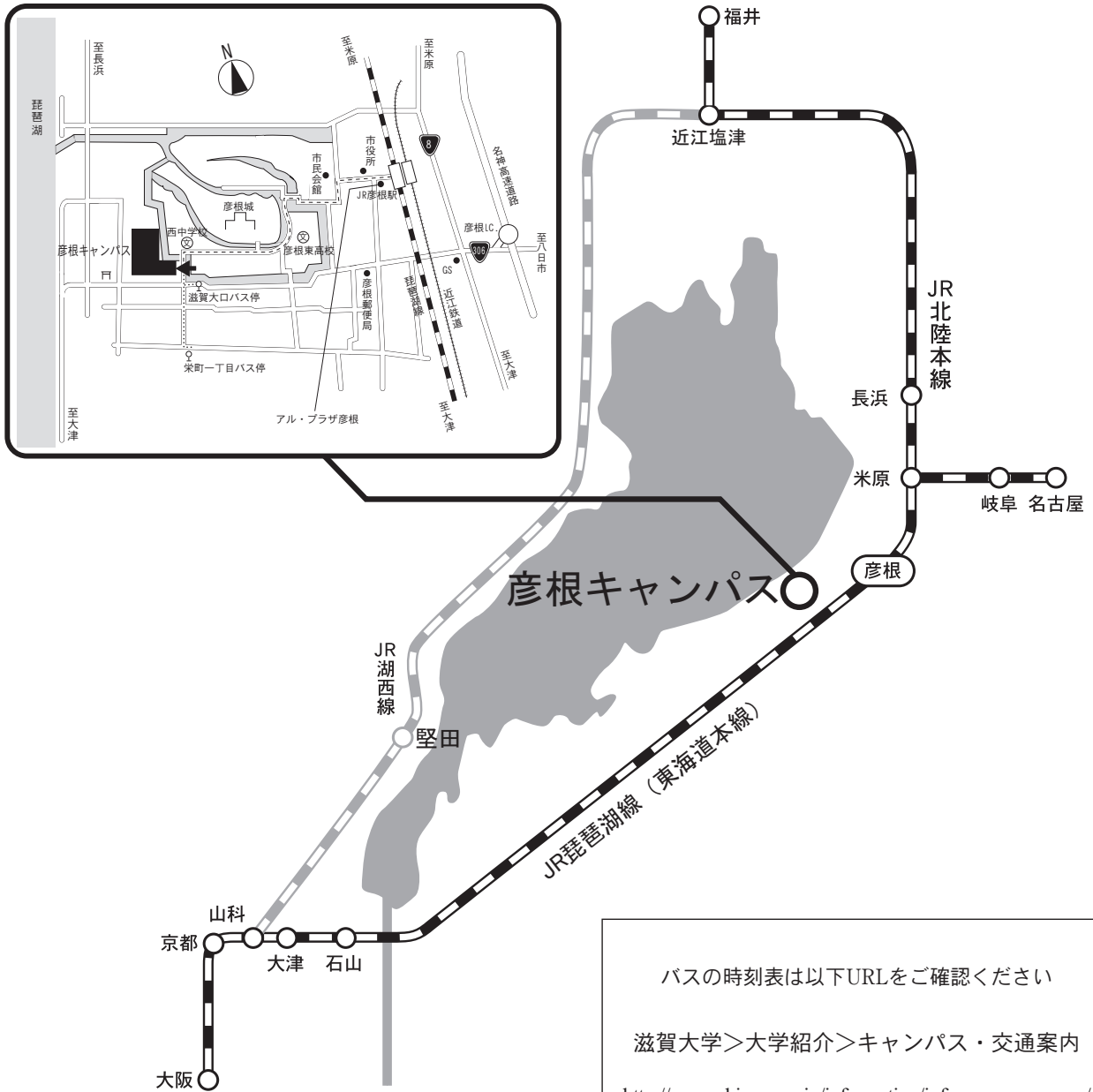
### ○入学志願票

記入は、必ず黒インキ又は黒色ボールペンで自書し、文字は楷書で、数字は算用数字で正確に記入してください。なお、※印欄は記入しないでください。

- (1) 選抜種別・志望専攻は希望するものを○で囲んでください。
- (2) 氏名欄は、戸籍簿（外国人の場合は在留カード又はパスポート）のとおり記入してください。  
性別欄は該当する文字を○で囲んでください。
- (3) 国籍、在留資格、在留期限、日本国内の連絡先欄は、外国人のみ記入してください。
- (4) 出願資格欄は、出身学校の学校名、学科名等及び卒業（修了）等年月を記入し、該当する語句を○で囲んでください。
- (5) 4～6頁の「授業担当教員一覧」を参照のうえ、志望する専攻の中から希望する指導教員を必ず2名記入してください。
- (6) 筆記試験受験科目は正確に記入してください。（提出後の受験科目変更は認めない）  
なお、一般入試の志願者は、先に解答する科目を第1科目欄に、後に解答する科目を第2科目欄に記入してください。  
なお、英語を選択する者は、第2科目欄に「英語」と記入してください。（提出後の解答順序の変更は認めない。）
- (7) 裏面の履歴欄は、高等学校以降を（外国人は小学校から）すべて記入し、職歴のある場合は所定の欄に記入してください。  
また、高等学校卒業後の学歴、職歴欄については、空白期間がないようにすべて記入してください。例 日本語学校等語学学校、研究生、科目等履修生等  
なお、研究生であった方は、指導者名も記入してください。  
例 ○○大学○○学部研究生 指導者名（            ）

# 彦根キャンパス試験場案内

◆試験場 滋賀大学大学院経済学研究科 彦根市馬場一丁目1番1号



バスの時刻表は以下URLをご確認ください  
滋賀大学>大学紹介>キャンパス・交通案内  
[http://www.shiga-u.ac.jp/information/info\\_campus-access/](http://www.shiga-u.ac.jp/information/info_campus-access/)

## 交通機関

「JR彦根駅」下車

\*「JR彦根駅」はJR琵琶湖線（東海道本線）です。誤って湖西線に乗らないよう注意してください。

- 徒歩の場合、JR彦根駅から-----印の道を約25分
- バスの場合、JR彦根駅バスターミナル
  - ⑤番のりばより、滋賀大学直行バスにて約10分（試験当日は臨時ダイヤで運行）
  - ②番のりばより、彦根県立大学線「県立大学（滋賀大口・市立病院経由）」行き、「滋賀大口」下車徒歩約2分、  
もしくは「県立大学（大藪・市立病院経由）」行き、「栄町一丁目」下車徒歩約5分
- タクシーの場合、JR彦根駅から約5分（900円程度）

## 入試情報サービス

滋賀大学では、入試に関する情報をインターネットで提供しています。  
出願状況・合格状況についての問い合わせには応じられませんので、次のホームページをご利用ください。

入試情報ホームページ <http://www.shiga-u.ac.jp/admission/>

携帯電話サイト <http://daigakuic.jp/shiga-u/>

QRコード  
※対応するスマートフォン・  
携帯電話で読み取れます。



提供する入試情報の主な内容は次のとおりです。

- 受験案内
- 募集要項の請求
- 出願状況（出願期間中毎日更新）
- 合格速報（合格発表後、合格者の受験番号と専攻を掲載）

なお、合格速報については、情報提供に万全を期しておりますが、合格通知書及び掲示板の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。